

# 多賀図書館 ふわふわちゃんだより



No. 26

〒316-0006

日立市末広町1-1-4

TEL 0294-33-2655

IP 050-8012-6952

編集・発行：日立市立多賀図書館 令和7年3月15日発行

R7.3月末まで

開館時間：9:00~18:00 / 水曜日 9:00~19:00

(水曜日が祝日の場合は18:00まで)

休館日：毎月末日(土、日、祝日と重なる場合は直前の平日)

HPにてカラー版掲載中！

R7.4月1日より



図書館 HP



YouTube

開館時間：9:00~18:00 (水曜日延長なし)

休館日：毎週水曜日 ※祝日の場合は翌日

日立市立図書館の

## 休館日および開館時間が変わります

令和7年4月1日(火)より、市内の一部公共施設の休館日及び開館時間の変更に伴い、図書館の休館日及び開館時間も変更となります。

### 休館日

記念図書館 毎週月曜日

南部図書館 毎週火曜日

多賀図書館 毎週水曜日

十王図書館 毎週木曜日

※祝日の場合、翌日

### 開館時間

9時~18時 ※水曜日延長なし

休館日の図書の返却は  
ブックポストへ  
お願いします



開館時間及び  
休館日

## 小野税理士法人様 有限会社小野商事様から 児童書を御寄贈いただきました

平成18年より、小野税理士法人様から児童書を御寄贈いただいております。

令和6年度は小野税理士法人様及び有限会社小野商事様から、合わせて82冊の児童書を御寄贈いただきました。

いただいた児童書は、調べ学習・伝記・日本の歴史など、子どもたちの知識欲に応えるとともに、その多くが将来に役立つ図書となっております。

1階子ども図書室で全て貸出できますので、ぜひご利用ください。



今年度御寄贈いただいた図書




# 1 階ギャラリー展示からのお知らせ

## 『私が愛した名探偵』

～皆で決めよう多賀図書館 No.1～

12月～2月の展示期間中、皆さんに好きな名探偵を4人の中から選んで投票していただきました。

### 『結果発表』

- 1 165票 金田一耕助 
- 2 151票 シャーロック・ホームズ
- 3 70票 明智小五郎 
- 4 58票 エルキュール・ポワロ 

たくさんのご投票ありがとうございました

3～5月は

## 「茨城をさがせ！」

～見つけると、なぜか嬉しくなる～

皆さん、読んだ本の中に茨城の地名や場所が登場すると、少し嬉しい気持ちになりませんか？

今回は「茨城が舞台となった本」や「茨城が紹介されている本」を集めてみました!!本の中に登場する“茨城”を探してみてください!

### オススメの本

『ある町の高い煙突』新田次郎 著

『ぼくとあいつのラストラン』佐々木ひとみ 作

『いばらきのおかず』服部一景 編著

## 作家の豆知識

### 作家のおやつ篇②

作家はどんなおやつを食べていたのでしょうか。今回は向田邦子をご紹介します。喜ばせたい、うれしそうに顔がみたい、向田邦子のおやつはそれが原点。職場の近くで選んだパイやケーキの味は本物でうまかったと妹は語ります。特にお気に入りだったのが、自宅近くの和菓子屋さんの水羊羹。食べ方にもこだわりがあり、うまさがあるという理由で、姉の自宅でしか口に出来なかったというエピソードが残されています。

(参考図書:『作家のおやつ』平凡社/2009年)

## 日立市オリジナルランドセルが令和7年4月にモデルチェンジ!

入学のお祝いとして日立市からプレゼントされるランドセルが、15年ぶりに新しくなり、色が赤、黒からキャメルに統一されます。この機会にランドセルや小学1年生に関する本をぜひご覧ください。

### 幼児、小学1・2年生向け

『らんらんランドセル』

めくるむ 

『こてんちゃんがきた!』

理論社

『そつえんするってことは』

アリス館

### 子どもと大人とで一緒に読める

『一年一組せんせいあのね』

理論社

『小学生になったらともだちずかん』

ポプラ社

『小学生になったらえほん』

ポプラ社

## 館長のひとこと

今年度は、「えいごのおはなし会」を12月と2月に実施しました。ネイティブの英語でお話を楽しんでいただくとともに、クリスマスと節分という文化の違いを学ぶことも目的としました。近年多様性という言葉をよく聞きますが、これはお互いの文化や考え方を尊重することであり、国や地域だけでなく、個人やグループ・団体などにおいても重要なことだと思えます。「自分はそんなことは知らない」「私には関係ない」と、先方の慣習ややり方を無視することはプライドを大いに傷つけることにもなります。プライドというと何となく軽い言葉に聞こえますが、それはその人や団体がこれまで培ってきた歴史であり誇りであり、軽んじてはいけないものです。不用意に踏みにじると大変なことになるのは多くの文学作品に書かれている通りです。人には、それぞれ大切にしているものがある—こうした多様性を学ぶ場所としての役割もまた図書館にはあると思えます。

(S 館長)